

平成21年1月 東京地区百貨店売上高概況

平成21年2月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,480億円余
2. 前年同月比	-9.6% (店舗数調整後/11か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-10.0%(88.4%) : 非店頭-6.5%(11.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成20年12月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	985,275㎡ (前年同月比:2.0%)
6. 総従業員数	18,882人 (前年同月比:-2.0%)
7. 3か月移動平均値	6-8月 -4.1%、7-9月 -3.0%、8-10月 -6.0%、 9-11月 -6.9%、10-12月 -8.9%、11-1月 -9.2%

[参考] 平成20年1月の売上高増減率は-1.6%

【1月売上の特徴】

- (1) 都内各店ともに入店客数は前年並みを維持しているが、セール販売の強化や顧客の単品購入志向の影響で客単価が下落し、売上を押し下げる要因となっている。
- (2) ファッション商材では、コート等防寒重衣料や海外高級ブランド等の高価格帯の不調が続いている。
- (3) 季節商材の福袋については、食料品・リビング用品などを詰め合わせた実用型の動きが良かった。
- (4) 北海道を始めとした地方物産展、及び歳暮ギフトの解体セールなどが各店とも好調で、食料品売上を押し上げる大きな要因となった。
- (5) バレンタイン商戦前半の傾向としては、「本格派志向」「自分用の購入」「男性による購入」などの特徴が見られる。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比-0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した:2店、②変化なし:5店、③減少した:14店、④不明:2店
- (3) 1月歳時記(初売り、冬的全館セール、成人の日)の売上(同上)
①増加した:0店、②変化なし:9店、③減少した:10店、④不明:4店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する:0店、②変化なし:11店、③減少する:10店、④不明:2店

東京地区百貨店 売上高速報 2009年01月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	148,049,560	100.0	-9.6 (-8.5)
紳士服・洋品	13,866,688	9.4	-13.0 (-13.0)
婦人服・洋品	41,361,657	27.9	-13.2 (-12.7)
子供服・洋品	3,119,592	2.1	-9.4 (-8.7)
その他衣料品	3,652,043	2.5	-12.3 (-12.3)
■ 衣 料 品	61,999,980	41.9	-12.9 (-12.6)
■ 身のまわり品	19,912,416	13.4	-11.0 (-9.8)
化粧品	6,363,347	4.3	-4.4 (-3.9)
美術・宝飾・貴金属	5,612,992	3.8	-23.0
その他雑貨	7,456,487	5.0	-18.7 (-16.4)
■ 雑 貨	19,432,826	13.1	-15.9 (-14.9)
家 具	2,145,629	1.4	-20.0 (-19.1)
家 電	681,138	0.5	-18.5
その他家庭用品	4,837,959	3.3	-9.0 (-8.1)
■ 家 庭 用 品	7,664,726	5.2	-13.2 (-12.4)
生 鮮 食 品	4,650,136	3.1	-1.4 (2.7)
菓 子	8,193,440	5.5	1.4 (2.7)
惣 菜	6,831,932	4.6	-4.8 (-3.8)
その他食料品	10,153,293	6.9	1.7 (3.9)
■ 食 料 品	29,828,801	20.1	-0.4 (1.5)
食 堂 喫 茶	3,622,436	2.4	-8.0 (-1.9)
サ ー ビ ス	2,026,080	1.4	15.5 (20.1)
そ の 他	3,562,295	2.4	40.4 (40.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。(■は主要5品目)

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	2,287,696 千円	-24.4
従 業 員 数	18,882 人	-2.0
店 舗 面 積	985,275 m ²	2.0

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.1 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全品目がマイナスとなった。菓子は25か月連続プラス、その他食料品が4か月ぶりにプラスとなった。化粧品は2か月連続マイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-9.6	—	11か月連続マイナス
紳士服・洋品	-13.0	-1.3	10か月連続マイナス
婦人服・洋品	-13.2	-3.9	6か月連続マイナス
子供服・洋品	-9.4	-0.2	5か月連続マイナス
その他衣料品	-12.3	-0.3	9か月連続マイナス
衣料品	-12.9	-5.7	6か月連続マイナス
身のまわり品	-11.0	-1.5	10か月連続マイナス
化粧品	-4.4	-0.2	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-23.0	-1.0	5か月連続マイナス*
その他雑貨	-18.7	-1.0	8か月連続マイナス*
雑貨	-15.9	-2.2	9か月連続マイナス
家具	-20.0	-0.3	10か月連続マイナス
家電	-18.5	-0.1	13か月連続マイナス
その他家庭用品	-9.0	-0.3	8か月連続マイナス
家庭用品	-13.2	-0.7	8か月連続マイナス
生鮮食品	-1.4	0.0	5か月連続マイナス*
菓子	1.4	0.1	25か月連続プラス*
惣菜	-4.8	-0.2	10か月連続マイナス*
その他食料品	1.7	0.1	4か月ぶりプラス*
食料品	-0.4	-0.1	4か月連続マイナス
食堂喫茶	-8.0	-0.2	3か月連続マイナス
サービス	15.5	0.2	3か月連続プラス
その他	40.4	0.6	5か月連続プラス
商品券	-24.4	-0.5	11か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>